

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	オフトーク通信事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	企画部	課等名	秘書広報文書課		包含する細々目	1	2	1	2	11	1	24,497
政策	9 市民と共に進める行政経営											
施策	92 情報共有の促進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間		年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	市民	加入者数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			8550	8000			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	市政に関する情報を提供する。必要な情報を得たことにより、市民の満足度が高まる。	平成18年3月実施の広報に関するアンケート調査結果により、市からの情報をオフトークから得た人の割合(%)	18目標	33	最終目標		
			18実績	33	19目標	30	↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値	
	1 オフトーク通信を通じたお知らせ 1日4回(再放送4回)、市からのお知らせを放送している。 また、NHKニュース、市議会中継、FMの再送など、市民への情報提供のひとつの手段である。 2 市民、団体、事業者からのお知らせ 3 緊急放送 尋ね人や災害情報など、市民の生命・財産に関わる情報を発信する。	18年度の実績	オフトーク通信での広報活動 ・ほっとらいんIIDA「お知らせ」1日4回(再放送4回) 市民、団体、事業者からのお知らせ 緊急放送(尋ね人や災害情報など)	無料放送回数 有料放送回数 広告放送回数	8,979 2,749 987
			19年度計画	オフトーク通信での広報活動 ・ほっとらいんIIDA「お知らせ」1日4回(再放送4回) 市民、団体、事業者からのお知らせ 緊急放送(尋ね人や災害情報など)	無料放送回数 有料放送回数 広告放送回数

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	6,675	6,480
	一般財源	17,979	18,017
事業費計(A)		24,654	24,497
人件費	正規職員所要時間	18年度 120	19年度 120
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	429	429
	トータルコストA+B	25,083	24,926

特定財源内訳や補足事項	オフトーク接続料(雑入) 月額60円×加入者数×12月×1.05
-------------	----------------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	市役所・市民が情報を共有する	市民が知りたい行政の情報が十分に入手できると感じている市民の割合	現状値	64.2	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	75
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ 有線放送事業に代わり、平成4年4月から市政情報発信する手段の一つとして運用を開始	事業を取り巻く状況の変化 加入者数の減少	事業に対する市民や議会の意見
---	-------------------------	----------------

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 市民の知りたい情報をオフトークから得られる	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がない (その理由) オフトークによる情報提供は十分にされており、成果を向上させる余地がない
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) オフトークは全市民を対象とするため		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 緊急情報やよりタイムリーで身近な情報を伝える手段が少なくなる
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 様々な市民ニーズに応えるために音声による情報提供は不可欠であり、見直しの必要はない		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由) 市政情報を提供する上では、飯田FM、ケーブルテレビが類似事業であるが、統合は難しい
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 市政情報を市民に伝えるのは、市が関与すべき事業である		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 不可能 (その理由) オフトークは、的確な市政情報を流す上で業者への指示等が重要である。番組制作における企画・準備の人的費用や放送媒体の費用は最低限必要である。制作・番組配信は外部委託しており、放送時間を削らず事業費の削減は困難。
	成果を下げずに、事業費や人的費用の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) オフトークは、的確な市政情報を流す上で業者への指示等が重要である。番組制作における企画・準備の人的費用や放送媒体の費用は最低限必要である。制作・番組配信は外部委託しており、放送時間を削らず事業費の削減は困難。	効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人的費用の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) オフトークは、的確な市政情報を流す上で業者への指示等が重要である。番組制作における企画・準備の人的費用や放送媒体の費用は最低限必要である。制作・番組配信は外部委託しており、放送時間を削らず事業費の削減は困難。
	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) オフトーク加入者に使用料を負担しており金額も妥当である	公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) オフトーク加入者に使用料を負担しており金額も妥当である

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 廃止時期を検討する
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	